

## 第三者評価（日本語教育振興協会）

異文化間コミュニケーションセンター附属日本語学校

総合所見〔日本語教育機関教育活動評価委員会〕

### 【達成状況】

在籍学生数 31 名（定員 48 名）、設置代表者・校長を含めた教職員 6 名による日本語学校として、構成員間の意思疎通や情報流通における小規模校ゆえの利点を生かした学校運営が進められていることが、評価用資料や実地面談から肯定的に看取された。創立以来続く異文化間コミュニケーション教育の基本方針が教職員間でよく共有され、他言語を母語とする学生同士の交流を促す日々の指導や、沖縄の文化・社会、宜野湾の地域社会を積極的に意識した指導として具体化されていることも認められる。

インターネット上の学校サイトは、学校案内・コース・授業料・入学手続などの基本情報がよく整理され、年間行事や沖縄紹介等の情報も含めて、日本語・中国語（簡体・繁体）・英語により提供されている。卒業生コメントなどを写真も多く用いて掲げたり、募集要項・入学願書・経費支弁者契約書をダウンロードできるようにしたりするなど、学校からの電子メディアによる情報発信は充実している。

入学者募集代理人との連絡交渉は限られた範囲で進められていて、現地での面談や先方のサイト・SNS の更新状況によりその信頼性を確認しており紹介学生ごとの仲介記録も保管されている。評価用資料「留学生紹介契約書」も先方の担う業務や紹介手数料を明示するなど適切に用意されている。

学校生活・日常生活、学習計画、進路などについての学生指導を入学時以降、毎学期の折々に計画的に行っている。その都度の学生向け配布資料に例えば教科書「みんなの日本語」の会話例に沖縄・宜野湾の具体的場面を入れる工夫や、入国管理関連で滞日・在学時の規則・注意事項をネパール語・中国語等で箇条書き文書にまとめた上でその内容についての「学則に関する同意書」を学生から署名付きで求めて周知徹底を図るといった工夫などを具体化しており、学生指導への積極的な姿勢が評価できる。

進路指導に関しては、面接ごとに作成する各学生の「進路調査票」や面接結果をまとめた「進路予定一覧」を作成・蓄積して、近年はそれを電子ファイル化して教員間で閲覧する方式も導入しており、活用が期待できる。また、専門学校等から入学担当者を招いて校内説明を開くほか、既に受験した学生・卒業生から実際に経験した試験内容や面接質問などを具体的に列記した「ヒアリング・シート」を集めて受験希望者の参考に供するという実践的な指導・支援も肯定的に評価できる。

### 【課題・改善要望等】

現行の授業記録簿は、指導内容や進度のほかに授業所感や学生状況をも電子的に入力したものが、これらを単にその都度の授業記録としておくだけでなく、教科書の当該箇所についての指導方法や注意事項が蓄積された指導教育用の共有資源として教員間で活用する方途を具体化するよう期待したい。

日本語教育機関の告示基準第 1 条第 1 号第 18 項にある「学校の活動状況について自ら点検・評価を年 1 回以上行うこと」「その結果を公表すること」に関連して、今回の教育活動評価で改善課題として自己評価のあった「記録」の充実という事項を当面の具体的な課題として、点検・改善・公表に向けた努力が重ねられるよう期待したい。